

台東区花とみどりの基本計画 後期の目標設定について

【基本目標 1】 花とみどりをつくり、育てる

	現行計画			現状	改定案
指標項目	策定時	目標			目標
	H30 年度 (2018)	R6 年度 (2024)	R11 年度 (2029)	R6 年度 (2024)	R11 年度 (2029)
緑被率	10.1%	10.4%	10.8%	—	10.8%
みどり率	17.5%	17.8%	18.1%	—	18.1%
公遊園等箇所数	91 箇所	93 箇所	95 箇所	92 箇所	95 箇所

〈目標〉

目標値である「緑被率」、「みどり率」は、概ね10年に1度調査を実施していることから、R6(2024)年度は実態が把握できていない。R11(2029)年度も継続して緑被率「10.8%」、みどり率「18.1%」を目標とする。

また、R11(2029)年度の公遊園等箇所数も継続して目標値を95箇所とする。

【基本目標 2】 花とみどりで まちを彩る

	現行計画			現状	改定案
指標項目	策定時	目標			目標
	H30 年度 (2018)	R6 年度 (2024)	R11 年度 (2029)	R6 年度 (2024)	R11 年度 (2029)
平均緑視率	21.8%	23.5%	25%	20.1%	25%

〈目標〉

国土交通省の調査によると、緑視率が25.0%以上になると、緑が多いと感じる人の割合が高くなる傾向とされている。平面的な緑が少ない本区において、本区らしい景観を活かし、視覚的に実感できる緑の量を増やすことはみどりに対する満足度をあげるためにも重要である。

中間改定では、共同住宅居住者が約8割である本区の特性や、区民意識調査等を踏まえ、地先園芸、屋上緑化、壁面緑化に加え、新たにベランダ緑化を推進するなど「都市型ならではの緑」を増やし、R11(2029)年度も継続して「25%」を目標とする。

【基本目標3】 花とみどりを守り、伝える

	現行計画			現状	改定案
指標項目	策定時	目標			目標
	H30 年度 (2018)	R6 年度 (2024)	R11 年度 (2029)	R6 年度 (2024)	R11 年度 (2029)
保護樹木	281 本	推進	推進	推進(319 本)※	推進
保護樹林	5 箇所	推進	推進	推進(5 箇所)	推進

※R5 年度末数値

〈目標〉

良好な景観を形成し、本区の歴史と文化を今に伝えている保護樹木、保護樹林について、引き続き制度の周知を図るとともに、支援制度を充実するなどして、今後も積極的に指定を推進することから、R11(2029)年度も継続して「推進」を目標とする。

【基本目標 4】 花とみどりの活動の輪を広げる

	現行計画			現状	改定案
指標項目	策定時	目標			目標
	H30 年度 (2018)	R6 年度 (2024)	R11 年度 (2029)	R6 年度 (2024)	R11 年度 (2029)
身のまわりの花やみどりを 増やしている区民の割合	37.3%	44%	50%	52.3%	55%

〈目標〉

「身のまわりの花やみどりを増やしている区民の割合」は、今回調査で最終年度の目標を達成した。屋上緑化・壁面緑化・地先緑化に加え、ベランダや室内における緑化も推進していくほか、花の心プロジェクトの活動など一層の普及啓発に努め、R11 年度の目標値を 55%とする。